土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　令和3年度　砂防指定地内河川 中津岡川　砂防設備緊急改築事業に伴う業務位委託

事業名 または 工事名　令和3年度　砂防指定地内河川 中津岡川　砂防設備緊急改築事業に伴う業務位委託

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.3	**調査位置**	広島県廿日市市大野			**北緯**	34° 18′ 33.48″
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所			**調査期間**	2021年 8月 30日 ～ 2021年 9月 3日	**東経**	132° 16′ 0.59″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 74.70m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0°	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°
総削孔長	13.00m	**使用機種**	試錐機：東邦地下工機 DO-D型	**エンジン**	ヤンマーNFD10-MEK	**ポンプ**	東邦地下工機 BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1～9				コンクリート		灰白～橙			顕生代	提体コンクリート。 20mm～40mm程度の骨材を含む。 最大L=40cm大の粗石を含む。 コンクリート中に小空隙が認められる。 GL-2.20mまでは亀裂部に若干の開口がありコア採取率が低い。 また、コンクリートの溶脱がみられ、骨材が剥離している。 GL-2.00m以深は玉石の混入率が高くなる。 GL-8.50m～8.60m間、亀裂部に土砂の混入が認められる。	09/02 3.12 09/03 9.21
9～13	65.37 61.70	9.33 13.00		花崗岩		橙茶			古第三紀	粗粒黒雲母花崗岩。 亀裂の発達した花崗岩で、コアは礫状～短柱状で採取される。 コア肌は荒く、亀裂面に変色が確認される。 部分的に粘土シームが確認される。 岩級区分ではDH～CL級に相当する。	

標準貫入試験

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
750	10.00～10.02	50/20			50/20	20	
750	11.00～11.02	50/20			50/20	20	
750	12.00～12.02	50/20			50/20	20	
1500	13.00～13.01	50/10			50/10	10	

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
5.55～5.65	C-1	⑯	圧縮試験		8/31 9/1
10.00～10.02	P-1	⊖			
11.00～11.02	P-2	⊖			
12.00～12.02	P-3	⊖			9/2
13.00～13.01	P-4	⊖			9/3